

研究の概要

20 25 年 11 月 7 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	筋ジストロフィー症例に対するPGT-Mの治療成績
代表研究者 (所属・氏名)：	IVFなんばクリニック 山本 桜子
研究の目的：	日本でPGT-Mを実施するには症例ごとに審査・承認を得る必要があるため、実施施設が限られている。一方で疾患別の体外受精成績は不明な点が多い。そこで患者本人が罹患者の筋強直性ジストロフィー(DM1)と保因者であるその他の疾患で胚への影響の違いを当院のPGT-M症例の治療成績から検討した。
調査データ該当期間：	20 17 年 1 月 1 日 ~ 20 24 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2017年~2024年の間に日本産科婦人科学会の承認を得た47名を対象に同意を得て顕微授精後胚盤胞まで培養しPGT-Mを行った胚263個と、そのうち単一胚移植を行った胚70個を対象とした。DM1群とDM1以外の筋ジストロフィー症例(MD群)とそれ以外の疾患(non-MD群)に分類した。採卵時平均年齢、採卵数、成熟率、受精率、胚盤胞到達率、生検率、また移植胚の着床率、流産率を比較した。
個人情報の取り扱い：	研究に関する情報には別途、管理体制を定め、管理記録台帳の治療IDと照合しなければ情報が得られないようにする。患者情報はカルテにアクセスし、治療IDで照合しないと得られないため、2段階で保護する
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	06-6978-8824 生殖技術部門・山本 桜子
備考	